

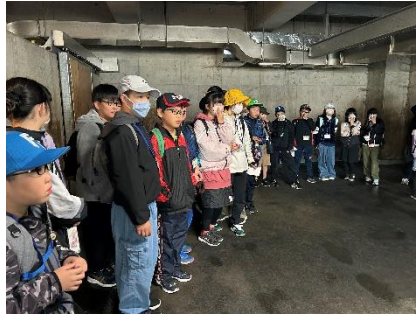
DREAM



令和6年度
チャレンジクラブだより第1号
発行日 令和6年6月10日
教育委員会地域の元気づくり課
(TEL83-5407)

第1講 「旭山動物園裏側体験」活動報告

第1回目のチャレンジクラブ「旭山動物園裏側体験」は、東神楽小9名・東聖小22名、合計31名の参加者で実施しました。少し肌寒い天候でしたが、予定通りの活動を行うことができました。それでは、第1講の活動の様子を報告します。



裏側体験は午後から行いました。動物園教育係担当者のかみえさんの案内で、カバ舎の裏側を見学することができました。カバは2トンの重さがあるので、階段を上ることはできないそうです。ですから、水槽に出入りしやすいように坂道は凸凹になっているそうです。水槽の中を一人の飼育員が一人でも素手で掃除をしていました。カバはきれい好きなのだそうです。カバは草しか食べないので、臭くはないのだそうです。むしろ雑食の人間の方が臭いということです。飼育員の仕事について説明がありました。普通の動物園では、「えさやり、体調管理、そうじなど」ですが、旭山動物園では、加えて「手書きの看板づくり、ガイド活動、餌箱など手作りしていろいろなものを作る」ことが特徴的なことだそうです。飼育員さんがいてこそ動物たちは快適に過ごすことができるのだと感心しました。最後に、動物園の役割を教えてくださいました。「どうやったら人間と動物が共生できるのか、そして動物を取り巻く状況をみんなに知ってもらうために様々な取組をしているのです。」話を聞きながら熱心にメモを取っている子どもたちがたくさんいました。



園内の見学は、グループで行いました。思い思いに園内中をくまなく回っていました。動物を観察するだけでなく、元気いっぱい活動していました。



寒かったですが、昼食は外で食べる子たちが多かったです。外だとなおさらおいしそうでした。